

令和5年度 決算説明資料

令和6年10月10日

環境局

目 次

	頁
1 クビアカツヤカミキリによる樹木被害の状況 -----	1
2 住宅等の低炭素化促進補助等の執行状況 -----	3
3 家庭系生ごみに占める食品ロス量等 -----	4
4 使用済紙おむつの推計量 -----	5
5 ごみ散乱対策箇所数及び改善箇所数 -----	6
6 福岡市における夜間収集の概要 -----	7
7 小型家電リサイクル事業の実施状況 -----	8
8 環境費の執行状況 -----	9

1 クビアカツヤカミキリによる 樹木被害の状況

(1) 被害状況

ア 地点数及び本数の推移

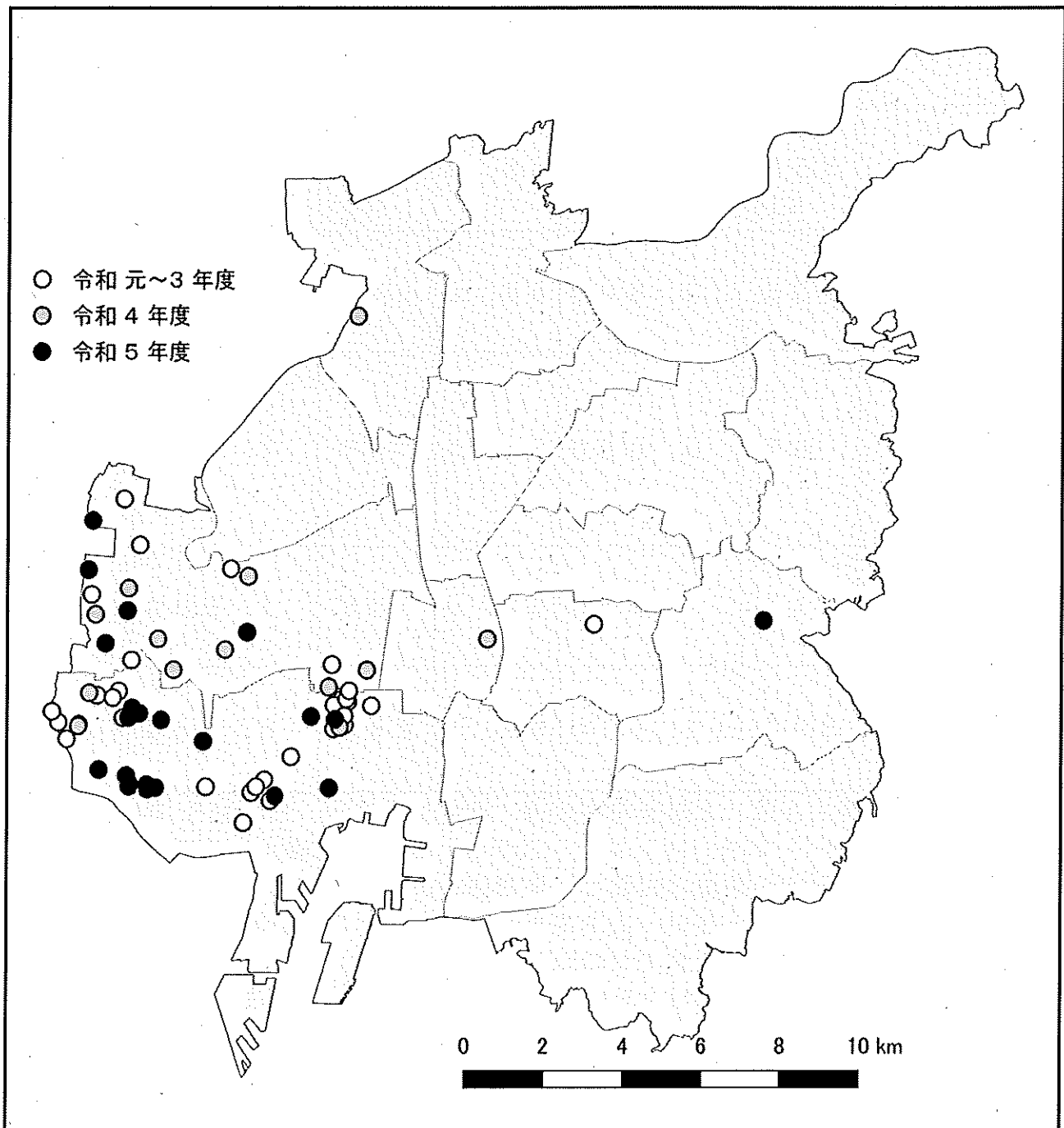
区 分	令 和 元年度	令 和 2 年度	令 和 3 年度	令 和 4 年度	令 和 5 年度	合 計
地 点 数	1 3	7	1 3	1 4	2 3	7 0
本 数	4 8	3 5	6 2	2 8	1 6 8	3 4 1

(注) 同一地点で本数が増えた場合、地点数は初年度のみ計上している。

イ 樹種別の本数

区 分	サクラ	ウ メ	モ モ	スモモ等	合 計
本 数	2 8 6	2 5	2 3	7	3 4 1

(2) 被害確認地点



2 住宅等の低炭素化促進補助等の 執行状況

区 分	令和4年度			令和5年度		
	件数 (件)	決算額 (千円)	執行率 (%)	件数 (件)	決算額 (千円)	執行率 (%)
一体的導入	356 (1)	71,577	69.3	397 (0)	79,571	82.6
Z E H Z E H +	133	23,800	68.0	140	26,600	76.0
Z E H Z E H +と 同時に 設置する 蓄電システム	67	6,030	51.5	82	7,380	63.1
V 2 H 充放電設備	13	650	65.0	38	1,900	95.0
家庭用燃料 電池システム	397	11,910	99.3	282	8,460	74.2

(注1) 一体的導入とは、太陽光発電設備、蓄電システム、HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）を同時に導入する区分をいう。
なお、括弧内の数値は内数で、集合住宅の件数である。

(注2) Z E H（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、家庭で消費する年間エネルギー量を正味でゼロ以下にする住宅をいう。

(注3) Z E H +とは、Z E Hより高い省エネルギー性能を備え、設備のより効率的な運用等により太陽光発電等の自家消費率拡大を目指した住宅をいう。

(注4) V 2 H（ビークル・トゥ・ホーム）充放電設備とは、太陽光発電設備等からの電気を電気自動車等に充電するとともに、充電した電気を住宅へ供給する設備をいう。

3 家庭系生ごみに占める食品ロス量等

区 分	令和4年度		令和5年度	
	量 (トン)	割合 (%)	量 (トン)	割合 (%)
食 品 ロ ス	54,172	54.1	53,137	54.4
手つかず	14,268	14.2	14,702	15.0
使いかけ	6,734	6.7	6,196	6.3
食べ残し	28,563	28.5	26,155	26.8
過剰除去	4,607	4.6	6,083	6.2
不 可 食 部	45,988	45.9	44,571	45.6
合 計 〔家庭系生ごみ の推計量〕	100,161	100.0	97,708	100.0

(注) 数値の単位未満は四捨五入としたので、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

4 使用済紙おむつの推計量

(単位：トン)

区 分		令和4年度	令和5年度
ガイドライン	家 庭 系	19,681	19,594
	事 業 系	18,781	19,125
	合 計	38,462	38,719
ごみ細組成調査	家 庭 系	26,539	24,858
	事 業 系	8,263	6,271
	合 計	34,802	31,129

(注1) ガイドラインは、環境省「使用済紙おむつの再生利用等に関するガイドライン」(令和2年3月)の推計方法に基づき算出した。

(注2) ごみ細組成調査は、令和4年度及び令和5年度に本市が行った調査結果に基づき算出した。

5 ごみ散乱対策箇所数及び改善箇所数

区 分	令和4年度		令和5年度	
	対策箇所数	改善箇所数	対策箇所数	改善箇所数
千 種	1 4	1 3	1 0	9
東	1 0	8	1 0	1 0
北	5	5	1 0	9
西	1 3	1 0	1 2	1 0
中 村	2 3	2 3	1 0	9
中	1 0	1 0	1 2	1 2
昭 和	1 0	9	1 0	9
瑞 穂	7	7	1 0	9
熱 田	1 2	1 2	1 2	1 2
中 川	1 0	1 0	2 1	2 1
港	1 0	8	1 0	8
南	1 0	9	1 0	1 0
守 山	1 0	1 0	1 0	1 0
緑	1 1	9	1 0	1 0
名 東	1 0	1 0	1 0	1 0
天 白	1 0	9	1 0	1 0
合 計	1 7 5	1 6 2	1 7 7	1 6 8

6 福岡市における夜間収集の概要

排 出 時 間	日没～午前0時
収 集 時 間	午前0時～午前7時頃
開 始 時 期	昭和32年頃
開始した経緯	明治から昭和の初期にかけてのごみは、肥料や飼料に利用するため、農業者などが兼業で本業開始前の早朝に収集を行っていた。その後、自動車の普及とともに深夜の運搬作業が可能となり、また年々深刻化する交通渋滞を避けるために夜間収集体制に移行した。
対 象 品 目	燃えるごみ 燃えないごみ 空きびん・ペットボトル

7 小型家電リサイクル事業の実施状況

(1) 回収量及び回収拠点数

区 分	令和4年度	令和5年度
回 収 量	216トン	268トン
回収拠点数	72箇所	72箇所

(2) 品目別の回収量及び割合

区 分	回 収 量 (kg)	割 合 (%)
映像用機器 (ビデオデッキ、DVDレコーダー等)	204	15.4
台所用器具 (電気ポット、ミキサー等)	199	15.1
ゲ ー ム 機	160	12.1
パソコン・タブレット	153	11.6
デジタルカメラ・ビデオカメラ等	85	6.4
付 属 品 (リモコン、ケーブル等)	68	5.1
音響用機器 (CDプレーヤー、ラジカセ等)	58	4.4
理容用器具 (ドライヤー、シェーバー等)	53	4.0
電子血圧計、体重計等	51	3.9
掃除機、ふとん乾燥機等	42	3.2
そ の 他	249	18.8
合 計	1,322	100.0

(注) 令和5年9月に実施した抽出調査の結果である。

8 環境費の執行状況

科 目		執 行 率 (%)	不 用 額 (千 円)	主 な 事 項
環 境 保 全 費	環 境 保 全 総 務 費	66.5	210,137	・低炭素都市なごや戦略実行計画の推進 ・PPAモデルを活用した事業用太陽光発電設備導入促進補助
	環境対策費	89.0	59,771	・実態調査等 ・環境にやさしい自動車利用の促進
	公害保健費	93.0	137,009	・補償給付 ・公害健康被害認定審査会の開催等
環 境 事 業 費	環 境 事 業 総 務 費	76.4	160,341	・集団資源回収活動への支援 ・環境事業所の維持管理
	ごみ処理費	95.7	752,563	・収集 ・焼却・溶融 ・プラスチック製・紙製容器包装等の収集及び選別
	し尿処理費	89.3	22,059	・浄化槽汚泥の処分 ・車両の購入
	環 境 事 業 施設整備費	95.3	279,285	・南陽工場の設備更新 ・西資源センターの移転改築 ・港作業場し尿輸送管の更新

(注) 執行率は決算額を予算現額で除して算出したもので、決算額には翌年度繰越額を含まない。